

## 平成27年度第2回 鹿児島市清掃事業審議会 概要

### 1 開催日時

平成27年10月8日（木） 13:53～15:26

### 2 開催場所

東別館 特別中会議室

### 3 出席者

#### (1) 審議会委員（13名）

赤崎委員（副会長）、赤星委員、有馬委員、井上委員（会長）、岩元委員、内委員、榎本委員、鬼塚委員、瀬戸山委員、三原委員、向段委員、柳井田委員、吉見委員

#### (2) 事務局（9名）

環境局長、清掃部長、リサイクル推進課長、廃棄物指導課長、清掃事務所長、北部清掃工場長、南部清掃工場長、リサイクル推進課庶務係長、同課ごみ減量係長

### 4 次第

#### (1) 諮問事項

家庭ごみの有料化（一般廃棄物処理手数料の徴収）について

#### (2) 報告事項

鹿児島市一般廃棄物処理基本計画の改訂に係る市民意識調査の結果報告について

#### (3) その他

### 5 報告事項及び審議事項の概要

#### (1) 諮問事項

家庭ごみの有料化（一般廃棄物処理手数料の徴収）について

#### (2) 報告事項

鹿児島市一般廃棄物処理基本計画の改訂に係る市民意識調査の結果報告について

発言者	発言内容
委員	<b>【諮問事項と報告事項について合わせて質疑】</b> 「長崎市は指定袋制度を導入しており、有料化は検討していない。」とあるが、長崎市の指定袋制度とは、どのような制度なのか。
事務局	長崎市は、透明ごみ袋ならなんでもいいというのではなく、市指定のごみの袋を業者に委託して作成し、指定袋にする費用がかかるので、通常の透明袋と違って若干料金が安い袋になる。そして、指定の袋でないと収集はしない。市民にとっては、指定の袋を買う費用負担があることで、ある程度ごみ減量のインセンティブが働くという効果がある。  有料化であるかどうかの違いは、手数料が市の歳入として入るか、

発言者	発言内容
	入らないかである。
委員	鹿児島市は指定袋制度ではなく、有料化の方を検討しているということか。
事務局	そうである。
会長	長崎市は、今の制度を改正する動きはあるのか。
事務局	今のところは、制度を変える考えはないということである。
委員	今回の諮問についてだが、審議会から、ごみの減量施策として有料化を導入・検討することが必要であると、市に対して意見書を提出した。それを受けて、市としては有料化の導入に向けて動いている。その内容について、市の方から原案を出し、それについて委員の意見をいただきたい。そして、こうあるべきだということを審議会として答申するという流れでよろしいか。
事務局	<p>そのとおりだ。今後、料金体系、ごみの種別など、具体的な仕組みに入っていくが、それについては、コストの面とか、試算を、数値的なものを含めて資料として出していきたい。</p> <p>それを踏まえて、これで行くという方向はないので、大枠を考えていただく。この清掃事業審議会は、清掃行政の主要な事業の方向性を決めるという場であるので、そういう意味でご審議を進めていただければと考える。</p>
会長	市民に負担を強いるということだから、これは大変重い諮問だと思う。やはり慎重にここは審議して、将来の市のためにも、市民のためにも、どちらにとっても必要な、あるいは役に立つ、そういう形にもっていく義務が我々にはある。
委員	<p>（「家庭ごみ有料化に関する基本的な考え方」の）6ページの表をご覧ください。有料化して先々本当に減量化していくのだろうかという疑念がある。久留米市は20年たったら3割くらい減量化しているが、佐賀市は17年たって93%。たかだか7%のダウンしかない。これは何故か。</p>
事務局	導入も早く、有料化とは別に、他の要因もあったという話があったが、そこは確認をさせていただいて、次回報告させていただく。

発言者	発言内容
委員	ごみ減量の結果が出ている都市の有料化以外の取組みも併せて確認いただきたい。
会長	当審議会が出した意見書も、有料化はごみ減量の一つの有力な手段であるが、その他のごみ減量施策も同時に実施する必要があると言っているので、調べていただければと思う。
事務局	我々も審議がうまく進められるように、他都市の状況など調べないといけないと思っている。委員の方々から、他に調べてもらいたいという事項があれば、是非意見として伺いたい。
委員	宮崎市にお住まいの方から、2人暮らしでゴミ袋が大き過ぎるので特小のゴミ袋を作ってもらったと聞いた。ゴミ袋の大きさも今後検討するのだろうが、どの様な経緯でそうなったのか知りたい。
事務局	大分市では、26年10月から（有料化を）導入したが、同じような話があり、5リッターの小さな袋を有料袋として導入された経緯がある。
委員	戸別収集のところがある。収集をする時間帯を、教えていただけないか。
事務局	戸別収集の時間帯は、次回に報告させていただきたい。
委員	(手数料の徴収方法で)シール方式を使っているところもあるのか。
事務局	去年の調査では、函館市、旭川市、長野市が、併用という形でシール方式を使っている。シール方式単独はない。
委員	資源ごみと、普通のごみと、(ゴミ袋の)色分けがされているのか。
事務局	袋の種類で、色、デザイン、標記を変えたりしている。そのため、ステーションでは違反ごみがあったら、すぐ分かる。
委員	違反ごみが出た時の処理の方法、手順はどうなるのか。
事務局	導入している都市については、ステーションにそれぞれ数週間、数か月間、職員を動員して、監視、周知に努めたというところが多い。

発言者	発言内容
委員	福岡の筑紫野市に住んでいた。(有料化の際、)最初に無料で、有料ごみ袋が入ったものが各世帯に配られて、この様な分別がありますと説明があった。
事務局	お試しセットの形で、有料化導入の2、3週間前に、ひとつおりの袋を入れて、これで今後は出してくださいと無料で最初は配っている都市もある。
委員	〔「鹿児島市一般廃棄物処理基本計画の改訂に係る市民意識調査」(以下「市民意識調査」という。)の)アンケートの結果で、前回よりも「ごみの減量のためには、有料化もやむを得ない」が上がったのは、こういった経緯があるのか。
事務局	そこの分析はまだしていないが、以前とは違って有料化をしている都市もあるなどの情報が入っているのではなかろうか。今からその分析はする。
委員	テレビで、視聴者に募集して、取り組んでいるエコ活動を、いろいろ紹介していた。主婦が見るような番組で取り上げられていると勉強になるので、啓発には、テレビとかメディアを活用するといいと思う。
委員	〔「市民意識調査」の)アンケートは一部(の市民)である。やはり順序を踏んで、いろんなことを知らせないといけない。
委員	〔「市民意識調査」の)アンケートの最後のページのごみの取り組み(指定袋などによるごみの有料化)についてどう思いますかという質問で、④の「有料化など経済的な負担が増える施策は必要ない」という回答もある程度パーセンテージが高い。できれば(有料化)して欲しくないなという意見を聞いたりする。有料ごみ袋がいくらかの単価になるのか、地域によって違うと思うが、平均を考えたいので、調べてもらいたい。
事務局	他都市の状況で何リッター袋がいくらであるとか、集計させていただきたいと思う。
委員	やっぱり弱者というのが、自分の周りにも、たくさんいらっしゃる。
会長	その辺の議論は、次回以降、集中的にやらなくてはいけない。

発言者	発言内容
委員	<p>他のごみ減量化の方法もいろいろ併用していきたいということがある。私は、自分で処理する家庭用コンポストをずっと使っている。こういう方面から手を引いていくということは考えていないか。</p>
事務局	<p>むしろ逆で、コンポストの補助の増額なり、補助が受けやすくなるような体制なり、得たお金をそういう方に回すということで、そういうことをご議論いただければと思う。</p>
会長	<p>有料化というものは、一つの方法に違いないが、その他の方法をうまく組み合わせることによって、より効果的なごみの減量につなげていく、そういう全体像を示しながら、この話をしていくことが理解を深めることにつながる。</p> <p>コンポストを使って自分で排出そのものを抑制するというのは本当に有力な方法である。ただ、コンポストを使って出たい肥類を有効に使う仕組みをうまく作ってほしい。</p>
委員	<p>今後、早い時点で、ごみ減量化のための有料化という形で広報活動していけばどうか。</p>
会長	<p>有料化ありきで、全部話をすすめてしまうのは問題である。有料化も含めたごみ減量化施策の情報を提供しつつ、どうしてもこれ(有料化)は必要だという形に行くのか、どうかである。</p>
委員	<p>減量化に向かってとは、処理費用の減少化ということがもっと大きな目的である。そのために前から南部で検討していただいているバイオガスの活用は、その後順調に進んでいるのか。</p>
事務局	<p>昨年度、焼却施設とバイオガス施設を合わせた形で事業計画を進めている。昨年度、基本計画を策定し、今年度が、基本設計の作業をしている。来年度以降、それをさらに具体化していくが、今のところ、33年度から稼働開始予定である。</p>
委員	<p>「ごみ減量化を目的とする有料化」は本当に大切なことで、「家庭ごみ有料化の基本的な考え方」の4ページに家庭ごみ有料化のイメージがあるが、「もやせるごみ」を削減していくイメージができるような表現をふくらました方が皆さんに分かりやすい。</p>
事務局	<p>その点について、このことは、ご審議いただきたいが、料金をとる</p>

発言者	発言内容
会長	<p>ごみの種別にも大きく影響する。「もやせるごみ」と「もやせないごみ」だけを有料化することによって、「もやせるごみ」に、今、雑紙、プラスチック容器類など、いろいろなものが入っているが、この分別を徹底できることで「もやせるごみ」自体を少なくできる。</p> <p>また、家庭ごみの中で4割が生ごみである。コンポスターで全く出さない方法、水切りをよくする方法や、天日乾燥してから出すという方もいる。いかに有料の部分を減らしていくかという情報提供をしていければと考えている。</p> <p>この審議会のごみ減量化の必要性の議論や、ごみ減量の工夫・取組の情報も含めて、審議会のホームページで情報提供することを（審議会として）事務局にお願いしたい。</p>
委員	<p>ホームページも有効な情報提供の場ではあるが、ご年配だとなかなか触れる機会がない。鹿児島市の情報を「市民のひろば」から得ているようなので、うまく使っていればと思う。</p>
事務局	<p>今も「市民のひろば」等で、随時情報を提供しているが、できればコーナーみたいなものが作れないか、広報課とも協議したい。また、ホームページについては、こちらの方で検討して取り組ませていただきたいと思う。</p>
会長	<p>双方向で市民からのご意見もホームページを通して出していただく仕組みを工夫していただけるとありがたい。</p>
委員	<p>市からも（資源物回収活動に対する）補助金があると思うが、これを大々的にPRしていくとこのダンボール、新聞紙、雑誌、チラシはゼロになるのではないか。</p>
事務局	<p>そこについては周知をしたい。</p>